

セーフティ プロモーション スクール
(Safety Promotion School : SPS)
認証申請書



大阪教育大学附属池田中学校

日本 Safety Promotion School 協議会

令和 6 年 3 月

目 次

はじめに

I. 学校概要	1
II. 学校統計	1
III. 本校教育の概要	3
IV. SPS の7つの指標	7
V. 7つの指標に基づいた取組	
指標-1 学校内に、「学校安全コーディネーター」等を中心とする学校安全推進のための「学校安全委員会」が設置されている	8
指標-2 学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、セーフティプロモーションの考えに基づいた「中期目標・中期計画（3年間程度）」が設定されている	10
指標-3 学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域ごとに具体的に策定されている	11
指標-4 「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている	13
指標-5 学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ分析に基づく明確な根拠をもとに学校安全推進活動に対する評価が行われている	17
指標-6 学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている	20
指標-7 学校安全推進に関わる活動の成果が、当該の学校関係者や地域関係者に広報・共有されるとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の発信・共有と新たな情報の収集が継続的に実践されている	24
VI. 「セーフティプロモーションスクール」の活動マトリックス表	27

はじめに

本校では平成 24 年 4 月 27 日に閣議決定された「学校安全の推進に関する計画」に基づき、学校安全の推進を目指した教育の研究および実践を、従前の取り組みを整理・深化させながら展開してきました。また、平成 22 年 3 月に WHO の International Safe School（以下 ISS）に認証され、平成 25 年 3 月には再認証を受けた、附属池田小学校と学校安全推進に関して連携をはかりながら、その成果を全国に発信してきました。

それらの取り組みの評価として、日本の中学校では初めてとなる ISS 認証の最終審査を平成 26 年 10 月 9 日(木)に受け、認証を受けることができました。そして、同年 10 月 10 日(金)に ISS 認証記念式典を挙行することができました。

また、平成 24 年 5 月に閣議決定されたわが国の教育振興基本計画に示された「自助・共助・公助」の理念を中核とし、スウェーデン王国のカロリンスカ研究所に設置されていた WHO Collaboration Centre on Community Safety Promotion (WHO-CCCSP) が推進していた International Safe School (ISS) の考え方や UNICEF が推進している Child Friendly School (CFS) の考え方などを参考に、わが国独自の学校安全の考え方を基盤とする包括的な安全推進を目的として、セーフティプロモーションスクール(Safety Promotion School: SPS)が構築されました。本校は平成 27 年 3 月 6 日に附属池田小学校とともに、我が国で初認証を受けました。それ以降も、学校安全の取り組みを継続的、組織的に発展させ、平成 30 年 3 月 6 日に再認証、令和 3 年 3 月 6 日に再々認証を受けました。

本校が学校安全を推進する理由としては以下の 3 つがあげられます。

1. 時代の要請

学校という場において、児童生徒等が生き生きと学習や運動等の活動を行うためには、児童生徒等の安全の確保が保障されることが不可欠の前提となります。また、児童生徒等は守られるべき対象であることにとどまらず、学校において、その生涯にわたり、自らの安全を確保することのできる基礎的な素養を育成していくことが求められます。

しかし、学校管理下における事件・事故災害等による児童生徒等の負傷や障害、死亡事例は依然として多く、特に、学校における負傷については大きく増加しています。また、学校への不審者侵入事案、登下校中における交通災害、地震や大雨をはじめとする自然災害等、学校安全を脅かす事案は後を絶ちません。それ故、学校安全は喫緊の課題であると言えます。

これらのことを鑑みると、子どもへの安全教育は、将来につながる安全意識・能力の基盤を培うものであり、長期にわたる教育の継続によって、次代を担う子どもたちに安全に関する考え方を定着させる効果があります。また、子どもに対する安全教育がなされることにより、適切な指導を受けた子どもが緊急時に率先して避難行動をとり、安全意識が必ずしも高くない

大人に避難を促すという効果も期待できます。こうしたことから、中長期的な視点で考えた場合、学校教育において安全に関する指導を行うことは、次代の安全文化を構築するという意義も担っています。

2. 子どもの実態

本校生徒の登下校や学校生活の様子を見ると、安全に関する知識・技能はある程度は身につけてはいるものの課題も残ります。その根底にあるものは、安全意識の継続性の欠如であると考えられます。

事件・事故災害に対し、自ら危険を予測し、回避するためには、知識とともに、習得した知識に基づいて的確に判断し、迅速な行動をとることができる力を身につけることが必要であります。そのためには、日常生活においても状況を判断し、最善を尽くそうとする「主体的に行動する態度」を育成する必要があります。また、中学時代は自発性が培われ、自身で行動、他にも目配り、気配り、発信していく力が飛躍的に伸張する時期であり、「主体的に行動する態度」が育まれやすいと考えられます。

3. 池田キャンパスの使命

平成13年6月8日に起きた池小事件を踏まえ、池田地区附属学校園では学校・保護者・関係諸機関(地域)が連携を図り、学校安全に取り組んできました。また、附属池田小学校においては、施設・設備の充実はもちろんのこと、組織的・継続的に安全教育を推進し、平成22年3月5日にInternational safe schoolの認証を受け、平成25年3月5日に再認証を受けました。

とりわけ、平成22年度より文部科学省の教育課程特例校として指定を受け、設置された「安全科」が児童の危険予知・回避能力を育むこと、そして命の大切さを実感し、生涯にわたって安全・安心な暮らしを営み、安全・安心な社会を構築する人材を育むべく展開されています。

「安全・安心な学校」は「豊かな学び」を創造します。本校は平成13年6月8日に発生した附属池田小学校事件を教訓に、小学校とともに安全・安心な学校づくりを日本全国、世界に発信していきます。

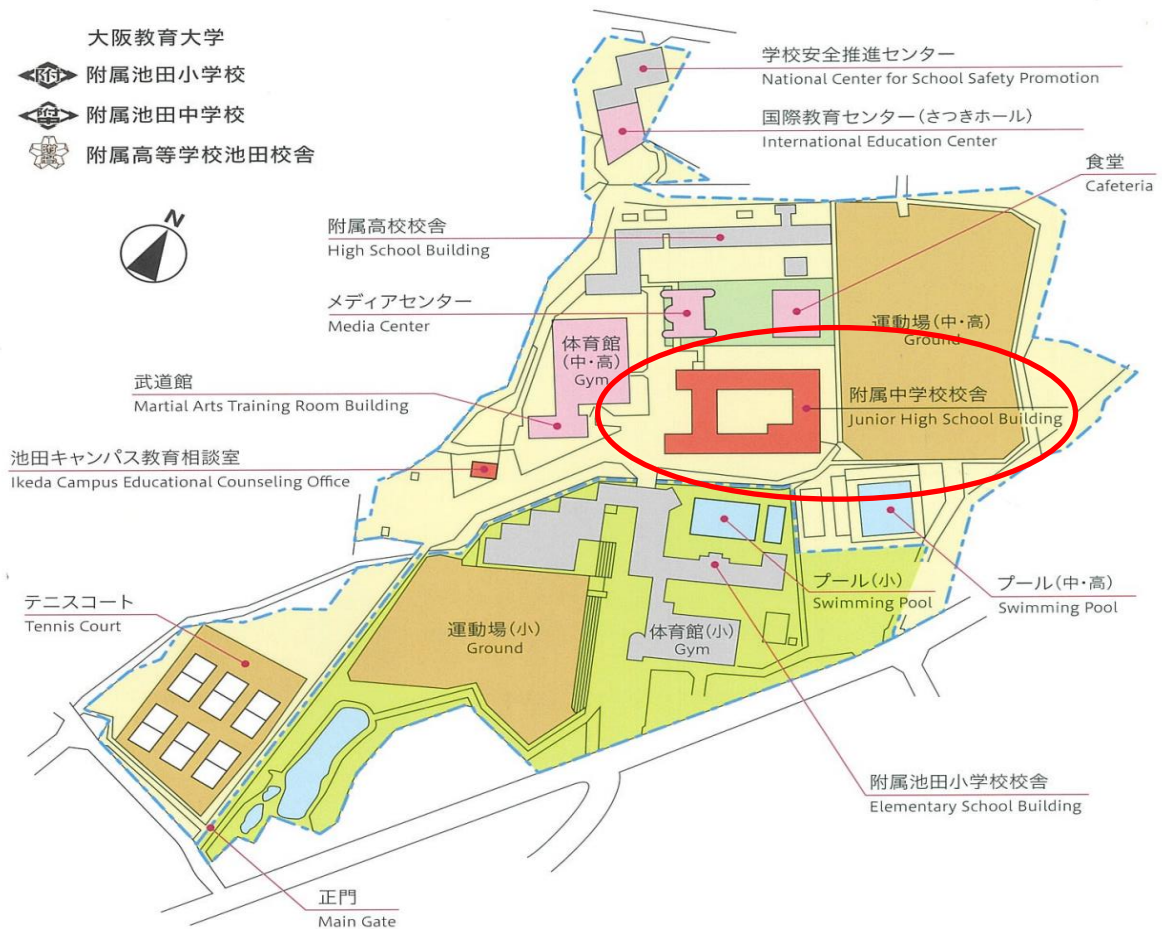
令和6年3月

I. 学校概要

1. 学校名 :	大阪教育大学附属池田中学校
2. 所在地 :	大阪府池田市緑丘 1-5-1
3. 郵便番号 :	563-0026
4. 電話番号 :	072-761-8690
5. Fax 番号 :	072-761-1104
6. E-Mail :	tsujimoto-k04@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
7. Website :	www.ikedaj.oku.ed.jp/
8. 通学区域 :	池田市, 豊中市, 箕面市, 吹田市, 高槻市, 守口市, 門真市, 大阪市の一部, 能勢町, 豊能町, 島本町, 川西市, 伊丹市, 尼崎市, 宝塚市, 西宮市, 芦屋市, 猪名川町
9. 校長 :	佐藤 賢 司
10. 副校長 :	辻本 堅 二
11. 主幹教諭 :	田中 伸 治
12. 連絡担当者 :	三好 達 也
13. 担当者職名 :	安全主任

II. 学校統計(令和5年5月1日現在)

1. 生徒数 :	434 名
2. 在籍生徒年齢 :	12 歳~15 歳
3. 常勤教員 :	23 名
4. 非常勤教員 :	7 名
5. 職員 :	10 名
6. 校種 :	中学校 (国立)



Ⅲ. 本校教育の概要

1. 本校の任務

- ① 教員養成大学である大阪教育大学の研究校
- ② 大阪教育大学の学生の教育実習校
- ③ 現職教育への奉仕をする学校
- ④ 常に新しい教育理念と中正な教育的信念を持ち、望ましい環境の内に個性を生かしながら、真の中等普通教育を実施することを目指している学校
- ⑤ 一般生徒，国際枠生徒(帰国生徒，在日外国籍生徒)，学校災害特別研究生徒からなる混合学級で授業を行い，新しい教育の開発を目指している学校

2. 本校の教育目標・教育方針

(1)教育目標

自主・自律の精神の育成

(2)教育方針

- ① 探究的な学び
- ② 共生の心
- ③ 信念に基づく行動

3. 本校の沿革(H. 24 年以降は学校安全関係が中心)

- S22. 4. 15 大阪第二師範男子部附属中学校として創立(池田市城山)
- S24. 7. 13 校名改称 大阪学芸大学大阪第二師範学校池田附属中学校
- S26. 4. 13 校名改称 大阪学芸大学附属池田中学校
- S31. 4. 29 現在地に移転(池田市緑丘)
- S42. 6. 1 校名改称 大阪教育大学附属池田中学校
- S44. 7. 15 プール完成
- S46. 4. 24 体育館，武道館完成
- S47. 6. 1 校名改称 大阪教育大学教育学部附属池田中学校
- H 6.11.30 メディアセンター完成
- H16. 4. 1 校名改称 大阪教育大学附属池田中学校

- H22. 2. 28 南校舎耐震・改修工事完了
- H24. 4. 14 第2回アジア・太平洋学校安全推進フォーラムに参加
日本 International Safe School 認証センター記念祝賀会に参加
- H24. 7. 30～31 学校安全主任講習会に参加
- H24. 11. 4 I S S 推進員養成セミナーに参加
- H24. 11. 17 熊本大学附属中学校から学校安全視察受入
- H24. 11. 29 International Safe School 認証取得を目指す意思を正式の表明
- H24. 12. 12～15 台湾嘉義市 International Safe School の取組視察
- H25. 3. 2 アジア・太平洋学校安全推進フォーラムで生徒が取組発表
- H25. 3. 4～5 大阪教育大学附属池田小学校 ISS 再認証実地審査，認証式典に参加
- H25. 3. 31 防災備蓄倉庫完成
- H25. 7. 1 タイ王国教育省から学校安全視察受入
- H25. 11. 29 東京学芸大学附属小金井中学校から学校安全視察受入
- H25. 12. 25～28 台湾台北市 International Safe School の取組視察
- H26. 1. 25 I S S 推進員養成セミナーで取組発表
- H26. 2. 27 愛知県西尾市立西尾中学校から学校安全視察受入
- H26. 3. 6 池田市消防署から感謝状授与
- H26. 3. 7 学校危機メンタルサポートセンターセンターフォーラムに参加
- H26. 3. 8 臨時 I S S 推進員養成セミナーに参加
- H26. 3. 24 e 安全学習研修会に参加
- H26. 5. 12～15 第7回アジア地域セーフコミュニティ国際会議で取組発表(韓国 釜山)
- H26. 7. 30～31 学校安全主任講習会に参加
- H26. 8. 31 北校舎耐震改修工事完了
- H26. 10. 9 International Safe School 認証実地審査
- H26. 10. 10 International Safe School 認証取得(国内中学校では初)
- H27. 3. 6 アジア・太平洋学校安全推進フォーラムで学校安全の取組発表
Safety Promotion School 認証
- H27. 3. 14 けやき坂，テニスコート，校舎内に 学校安全主任講習会に参加
- H27. 5. 14 韓国教育大学院から 31 名が本校の学校安全視察
- H27. 9. 28 SPS 認証旗および盾を藤田大輔センター長より授与

- H27.11.20 学校安全コーディネーター研修会で SPS の取り組み発表
- H27.12. 2 国際バカロレア MYP 候補校
- H27.12.11 愛知県東浦町より 11 名が本校の学校安全視察
- H27.12.12 第 9 回セーフティプロモーション学会にて SPS の取り組み報告
- H28. 8.29 セーフティプロモーションスクール (SPS) 推進委員養成セミナーで実践報告
- H28.11.17 大阪府寝屋川市中堅教諭等資質向上研修における安全の取り組み講習と安全学習研究授業発表
- H29.10. 2 大阪府寝屋川市中堅教諭等資質向上研修における安全の取り組み講習と安全学習研究授業発表
- H29.11.18 本校公開授業研究会における安全学習の研究授業と本校の取り組みについての発表
- H30. 3. 6 Safety Promotion School 再認証
- H30.11.20 大阪府寝屋川市中堅教諭等資質向上研修における安全の取り組み講習と安全学習 研究授業発表
- H30.11.23 本校公開授業研究会における安全学習の研究授業と取り組みの実践発表
- H30.12.27 学校安全コーディネーター養成研修において取り組みの実践発表
- H31. 3. 1 第 17 回学校危機メンタルサポートセンターフォーラム参加
- R1. 5.27～29 タイ王国 SPS 推進委員養成セミナーにおいて実践発表
- R1. 6.28 静岡県小中学校学校安全教育指導者研修会において実践発表
- R1. 7.30 滋賀県学校安全指導者講習会において実践発表
- R1.11.21 大阪府寝屋川市中堅教諭等資質向上研修における安全の取り組み講習と安全学習研究授業発表
- R1.12.14 セーフティプロモーションスクール(SPS)推進員養成セミナー実践発表
- R2. 2. 1 国際バカロレア MYP 認定校
- R2.10.10～11 日本安全教育学会第 21 回静岡大会 一般口演発表
- R2.12.28 セーフティプロモーションスクール(SPS)推進員養成セミナー実践発表
- R3. 3. 6 Safety Promotion School 再々認証
- R4. 2. 4 全国学校安全研究大会 発表
- R4. 4.27 高槻市教育委員会から 10 名が学校安全視察
- R4.11.22 学校安全学シンポジウム 2022 において実践発表

- R4.12.2 学校安全総合支援事業(学校安全に係る専門性向上支援事業) 学校安全実践力向上
セミナーにおいて実践発表
- R4.12.9 宮崎市教育委員会から6名が学校安全視察
- R5.3.3 第3回学校安全推進センターフォーラムにおいて学校安全の取組発表
- R5.9.21 文部科学省学校安全有識者会議において学校安全に関わる取組のヒアリングおよび
意見交流
- R5.11.24 中国から教育関係者8名が学校安全(ヒヤリハットシステム等)に関する視察およ
び意見交流
- R5.12.26 宮崎県教育委員会・中学校・高等学校から5名が学校安全視察
- R5.12.25 学校安全コーディネーター研修会でSPSの取組発表
- R6.1.29~30 国際バカロレア機構から評価訪問
- R6.2.7 大阪府教頭研修会において学校安全の取組発表
- R6.3.6 Safety Promotion School 4度目の認証(予定)

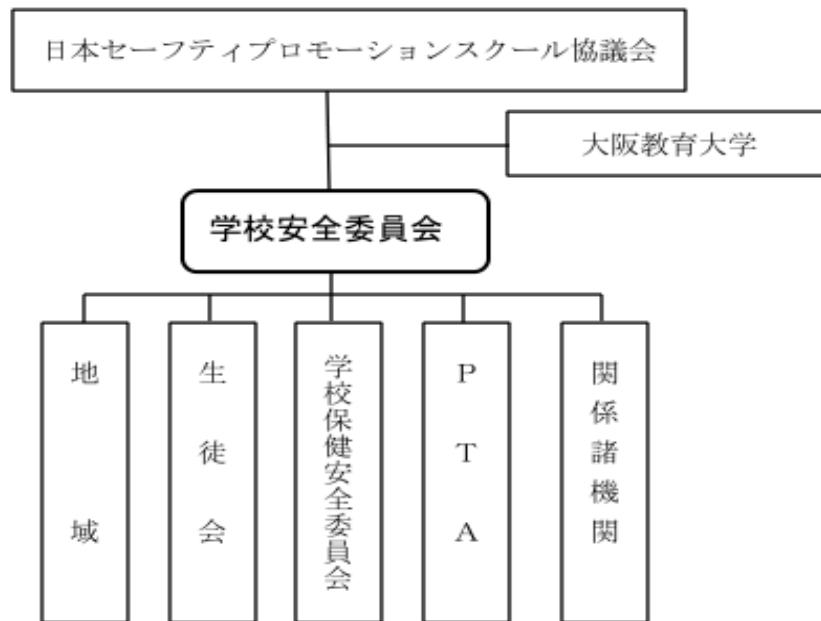
IV. セーフティ プロモーション スクール (SPS) 7つの指標

指標 1 (組織)	学校内に、「学校安全コーディネーター」等を中心とする学校安全推進のための「学校安全委員会」が設置されている。
指標 2 (方略)	学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、セーフティプロモーションの考え方に基づいた「中期目標・中期計画（3年間程度）」が設定されている。
指標 3 (計画)	学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域ごとに具体的に策定されている。
指標 4 (実践)	「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。
指標 5 (評価)	学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ分析に基づく明確な根拠をもとに学校安全推進活動に対する評価が行われている。
指標 6 (改善)	学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。
指標 7 (共有)	学校安全推進に関わる活動の成果が、当該の学校関係者や地域関係者に広報・共有されるとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の発信・共有と新たな情報の収集が継続的に実践されている。

VI. 7つの指標に基づいた取組

指標1：学校内に、「学校安全コーディネーター」等を中心とする学校安全推進のための「学校安全委員会」が設置されている。

(1) 学校安全を推進するための組織



(2) 学校安全委員会の構成

		(役職例)：名 前
委員長	学校安全コーディネーター	(安全主任)： <input style="background-color: #cccccc;" type="text"/>
委員	教職員代表(学校保健安全委員会)	(校長)： (副校長)： (教務主任)： (養護教諭)： (教諭)： (教諭)： (教諭)： (事務)： <input style="background-color: #cccccc;" type="text"/>
委員	生徒代表(生徒会)	(会長)： (安全委員長)： <input style="background-color: #cccccc;" type="text"/>

委員	保護者代表(PTA)	(会長) : <input type="text"/> (副会長) : <input type="text"/>
委員	警察関係者(関係諸機関)	(池田警察署生活安全課長) : <input type="text"/>
委員	消防関係者(関係諸機関)	(池田市消防署長) : <input type="text"/>
委員	市町村危機管理部局関係者 (関係諸機関)	(池田市危機管理課安全管理専門員) : <input type="text"/>
委員	地域自治会代表(地域)	(鉢塚町内会会長) : <input type="text"/>



学校安全委員会



学校安全管理委員会 (学校, 関係諸機関, 地域)

指標2：学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、セーフティプロモーションの考え方に基づいた「中期目標・中期計画（3年間程度）」が設定されている。

分野	中期目標・中期計画
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が主体的に外傷予防およびいじめ防止に取り組む態度を育成する。 ・外傷に関するデータの蓄積と分析，特に部活動および体育的行事における外傷予防策の策定およびヒヤリハットシステムの活用 ・生活（いじめ関連を含む）アンケートの継続的な実施および改善策の策定 ○校内の危険箇所を大幅に減少させる。 ・生徒目線の危険箇所の把握と生徒会による改善策の実施 ○関係諸機関との連携を強化し，薬物依存や情報モラルの危険認識および危険回避の態度を育成する。 ・発達段階に応じた系統的な安全教育の実施
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火山対策 ・火災予防	<ul style="list-style-type: none"> ○地震，風水雪害等の災害に対する危険予知能力や危険回避能力を育成する。 ・系統的な災害安全学習の実施 ○災害時における保護者への連絡体制を確立する。 ・有事における保護者への適切な引き渡し方法を含めた学校安全マニュアルの継続的な見直し ○消防等の関係諸機関との連携を図り，効果的な避難訓練を実施する。 ・安全学習と有機的な関連を図った避難訓練の実施
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	<ul style="list-style-type: none"> ○歩行者，運転者の双方からの視点を踏まえた総合的な危険予知能力や危険回避能力を育成する。 ・マナー向上に視点を置いた歩行者，運転者のそれぞれの立場からの交通安全教育の実施による総合的な危険予知能力・危険回避能力の育成 ○通学路の危険箇所を把握し，危険情報の共有化を図ることで生徒の安全確保に努める。 ・教員による巡回指導およびPTA 立ち当番の毎日の実施および危険情報の共有 ○PTA や地域の協力を得て，登下校のマナーの向上を図る。 ・PTA や地域からの報告・連絡をまとめた報告書の共有および課題の明確，改善策の策定

指標3：学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域ごとに具体的に策定されている。

分野	領域	年間計画
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ○養護教諭と連携しデータを継続的に蓄積・掲示，分析，予防の策定 ○ヒヤリハットシステム活用した授業 ○AEDを含む救急救命講習の実施 ○様々な状況を想定した不審者対応訓練の実施
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の月1回の校内安全点検 ○生徒会安全委員会による月1回の校内点検の実施 ○学校安全の手引きの作成 ○メール配信システムの適切な運用 ○S-PDCAサイクルに基づく安全マニュアルの改訂
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ○学校安全委員会において学校の取組の報告に対する評価・共有 ○普通救命講習実施による教職員・保護者・生徒の救急救命スキルの向上 ○関係諸機関と連携した情報モラル，薬物乱用防止，熱中症予防に関する学習の実施 ○大学教員との連携 ○学会等での発信
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火山対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な状況を想定した地震・火災対応避難訓練の定期的な実施 ○避難訓練と関連付けた防災学習の実施。高校との合同避難訓練の実施。 ○災害時に役立つ調理法の安全学習（パッククッキング）
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ○消防計画や防災組織編成に基づく教員の役割分担・任務の遂行 ○防災備蓄倉庫の備品点検および充実 ○災害時における保護者への連絡体制の確立
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ○学校安全委員会において学校の取組の報告に対する評価・共有

交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	○安全およびマナーに留意をおいた交通安全学習の実施 ○生徒手帳を用いた交通安全指導
	安全管理	○登校時における危険情報の報告・共有 ○行政と連携した，道路状況の周知
	安全連携	○保護者の立ち当番による継続した安全見守り活動 ○学校安全委員会における情報の報告と情報共有（警察，消防，見守りパトロール隊，PTA，小中高職員）

指標 4：「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。

分野	領域	活動・実践の内容
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ○養護教諭と連携しデータを継続的に蓄積・揭示、分析、予防の策定（毎学期末に報告・共有） ○ヒヤリハットシステム活用した授業 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットのデータからピクトグラムを作成，2年生2学期 ・月に1回ヒヤリハットのデータの蓄積，分析，共有 ○AEDを含む救急救命講習の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・5/25 救急救命講習，教職員（事務職員，校務員含む）28名参加 ・12/1 救急救命講習，生徒42名参加 ○様々な状況を想定した訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・4/5 防犯講習，教職員対象 ・4/12 防犯訓練・集団下校グループ確認，生徒・教職員対象 ・5/25 プール事故の緊急連絡訓練，教職員対象 ・8/23 防犯訓練，職員対象 ・3/19 生徒会事故対応訓練，クラブ対象
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の月1回の校内安全点検 ○生徒会安全委員会による月1回の校内点検の実施 ○学校安全の手引きの作成（年度当初） ○メール配信システムの適切な運用 ○S-PDCA サイクルに基づく安全マニュアルの改訂（年度末）
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ○普通救命講習実施による教職員・保護者・生徒の救急救命スキルの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・応急手当普及員有資格教員12名 ○関係諸機関と連携した情報モラル，薬物乱用防止，熱中症予防に関する学習の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・5/26 熱中症対策講座，生徒対象（大塚製薬） ・6/2 8/24 ケータイ安全教室，生徒・保護者対象（NTT ドコモ・LINE・KDDI） ・7/12 薬物乱用防止教室，生徒・保護者対象（池田警察） ○大学教員との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットシステムの活用（大阪教育大学 藤田教授） ○学会等での発信 ○他校との取り組みの共有 <ul style="list-style-type: none"> ・8/25 岩手大学教育学部附属中学校との連携（生徒会）

災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火山対策 ・火災予防	安全教育	○様々な状況を想定した地震・火災対応避難訓練の定期的な実施 ・9/14 地震避難訓練，生徒・教職員対象 ・12/1 火災対応避難訓練，生徒・教職員対象 ○避難訓練と関連付けた防災学習の実施。高校生との合同避難訓練。 ・9/14 地震避難訓練，中学生・高校生・中高教員) ・災害時に役立つ調理法の安全学習（パッキングクッキング），1年生2学期
	安全管理	○消防計画や防災組織編成に基づく教員の役割分担・任務の遂行 ○防災備蓄倉庫の備品点検および充実（年度当初） ○災害時における保護者への連絡体制の確立（年度当初）
	安全連携	○学校安全委員会において学校の取組の報告に対する評価・共有（月1回） ・3/18 池田地区学校安全管理委員会（小中高の学校・PTA，大学教員，池田警察，池田消防，池田市役所，鉢塚町内会）
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	○安全およびマナーに留意をおいた交通安全学習の実施（6月 全生徒対象） ○生徒手帳を用いた交通安全指導（4月 全生徒対象）
	安全管理	○登校時における危険情報の報告・共有（随時） ○行政と連携した，道路状況の周知（随時）
	安全連携	○保護者の立ち当番による継続した安全見守り活動（毎日） ○学校安全委員会における情報の報告と情報共有（警察、消防、見守りパトロール隊、PTA、小中高職員）

1. 生活安全



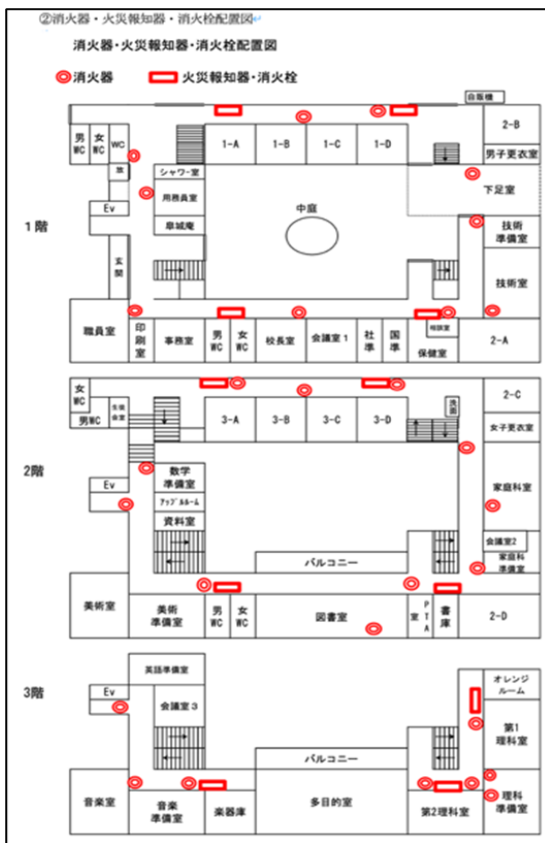
生徒対象救急救命講習



生徒会主催 部活動事故対応訓練



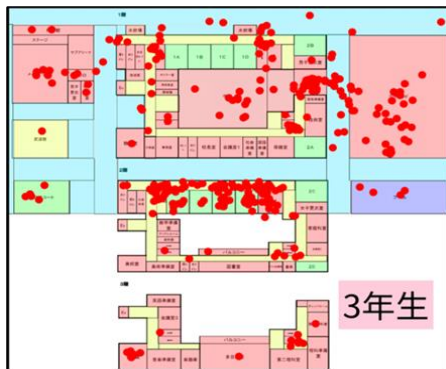
不審者対応訓練



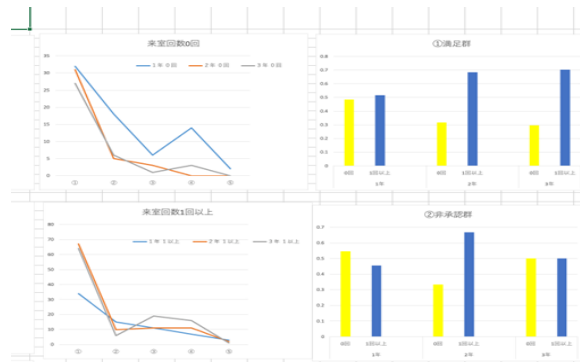
←学校安全マニュアル↑



薬物乱用防止教室→



ヒヤリハット・システムのデータ



外傷データ（保健室）

2. 災害安全



地震対応訓練



防災備蓄倉庫



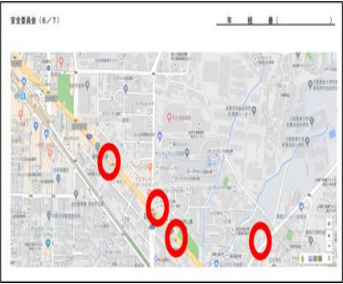
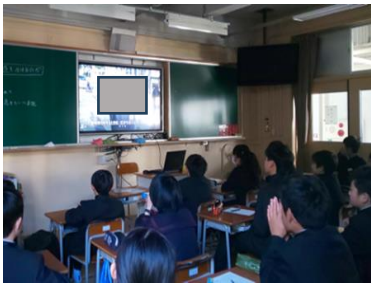
火災対応訓練



緊急時記録ボード

他校との交流（生徒）

3. 交通安全



安全学習

通学路の安全確認用紙

PTA 立ち当番による安全見守り活動

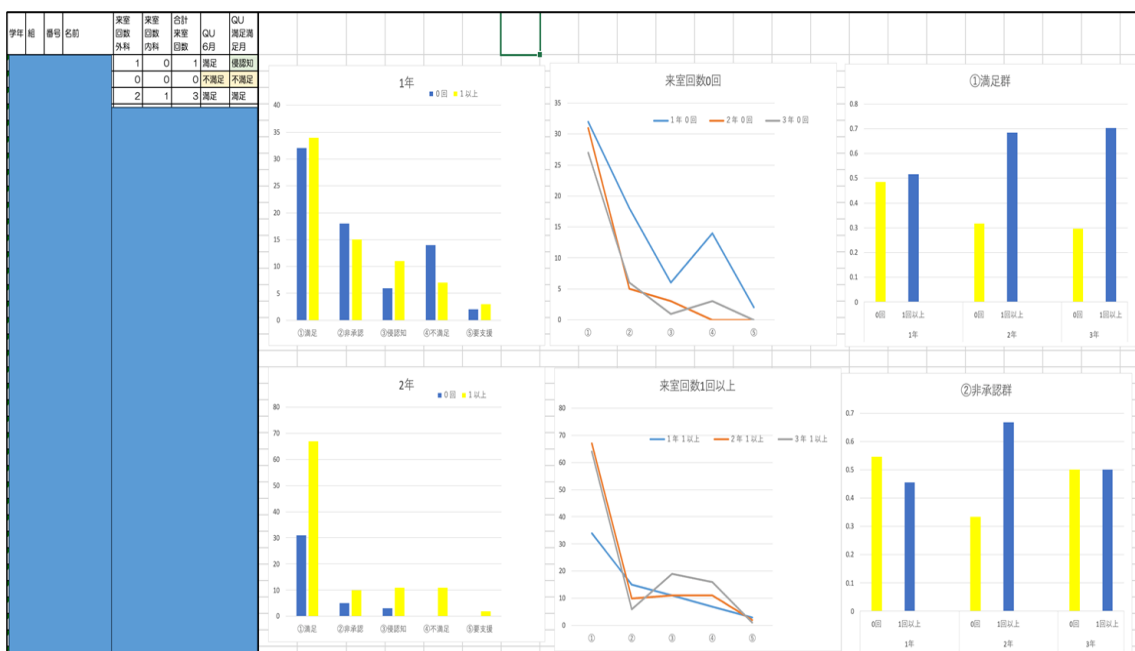
指標 5：学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ分析に基づく明確な根拠をもとに学校安全推進活動に対する評価が行われている。

分野	領域	評価方法
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	○保健室利用の統計処理を行い、内容をグラフ化し、分析 ○安全委員会での振り返り
	安全管理	○保健室利用の統計データから、外傷内容の分析
	安全連携	○生徒へのアンケートや振り返りシートの点検
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火山対策 ・火災予防	安全教育	○訓練時、専門家による講評 ○生徒のワークシートの点検 ○安全委員会での振り返り
	安全管理	○メール配信結果の分析 ○防災倉庫の点検
	安全連携	○訓練時における生徒へのアンケートや振り返りシートの点検
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	○生徒へのアンケートや振り返りシートの点検 ○安全委員会での振り返り
	安全管理	○PTAによる立ち番や教職員の巡視後の報告
	安全連携	○学校安全委員会の報告

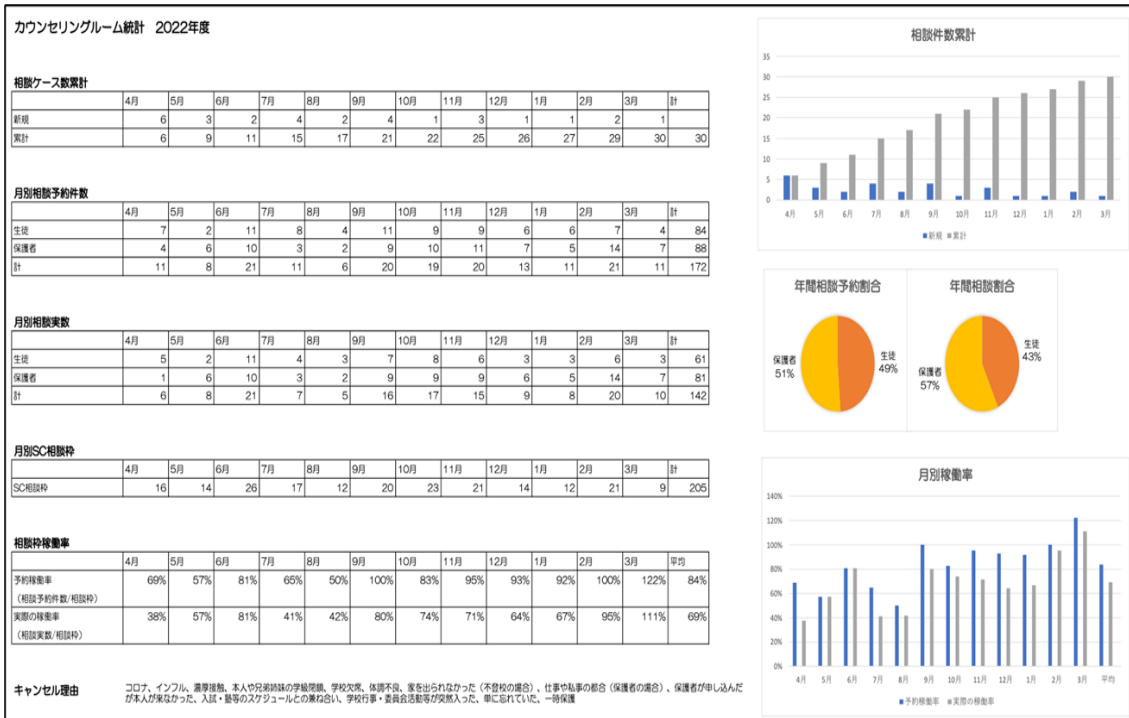
1. 保健室利用状況



2. Q-U テスト結果と保健室利用



3. カウンセリングルーム統計



4. 学校安全取組総括

令和3年3月29日

令和3年度 学校安全の取り組みについて(総括)

大阪教育大学附属池田中学校

1. はじめに
 学校安全の取り組みは、生徒が安心して学校で活動する基盤となるものである。心身ともに安心・安全な環境が担保された上に、豊かな学びを構築する事が可能となる。しかし、学校安全の取り組みの意義は、子どもたちの学校の中での安全を確保するためのものだけには留まらない。子どもたちはやがて、学校を卒業し社会を主体的に構成する一員となる。このため、子どもたちへの安全教育は安心・安全な社会を構築するための礎となるものである。
 また、本校は池田キャンパスに位置する学校として、平成13年6月8日に発生した附属小学校における事件を受け、組織的に適切な学校安全活動を推進するとともに、学校安全の発信を担っていく責務をおびている。これから先も学校安全の取り組みがより有用なものになるために、今年度の取り組みを振り返りまとめたいと考える。

参考資料：「第2次学校安全の推進に関する計画(平成29年3月24日)」より学校における安全教育は、児童生徒等の生涯にわたる安全に関する資質・能力の基礎を培うものであることに加え、安全に関する資質・能力を身に付けた児童生徒等が社会人となり、様々な場面で活躍することを通じて、社会全体の安全意識の向上や安全で安心な社会づくりに寄与することも期待される。こうしたことから、中長期的な視点で考えた場合、学校教育において安全に関する指導を行うことは、次代の安全文化を構築するという意義も担っている。

2. 活動内容
 (1) 令和3年度防災・防災計画作成(R3.4.1)
 (2) プール管理委員会(R3.6.3)
 (管理職・学校安全主任・保健体育科主任・生徒指導主事・養護教諭)
 ・安全な水泳授業監視体制、水質管理施設設備の安全点検等
 (3) 防災・防災訓練の実施
 * 防災講習(職員対象)・・・4月5日
 > 学校安全の手引きを用いて、学校安全に対する共通理解 安全設備の周知等
 * 防災訓練(生徒・教職員対象)・・・5月14日
 > 不審者侵入時の対応の周知(生徒・教職員)・集団下校のグループ確認【集合は無し・Google フォームでの確認のみ】(生徒・教師)
 * 救急救命講習(職員対象)・・・5月25日
 > 心肺蘇生法、AED、気道異物の除去、エビペンの使用等(消防署修了証あり)
 * プール事故の緊急連絡訓練(教職員対象)・・・5月25日
 > プールの授業中に溺水事故が発生した想定でのより実態に即した対応訓練
 * 学校安全講習(新入生)・・・4月19日～23日 ATLスキル週間
 > 学校安全の意義、過去の事例、自助から共助へ等
 * 救急救命講習(生徒対象)・・・7月15日(コロナ禍のため中止)
 心肺蘇生法、AED、気道異物の除去、緊急時の連絡手段等
 * 防災訓練(職員対象)・・・8月23日
 > 不審者役を設定し侵入を想定した訓練
 * 地震避難訓練(生徒・職員対象)・・・8月26日
 > 休校中に緊急地震速報の訓練用報を使用した訓練を実施
 * 火災対応避難訓練(生徒・職員対象)・・・12月3日
 > 技術室より火災が発生した想定での訓練と、避難後は生徒による講習会を実施

3. その他
 * 救急救命講習(生徒対象)・・・12月3日(消防署修了証あり)
 > 心肺蘇生法、AED、気道異物の除去、緊急時の連絡手段等
 * 生徒会事故対応訓練(クラブ対象)・・・12月13日
 > 部活動における緊急事態の連絡体制の確認

4. 安全指導・安全教育
 * 生徒会本部・安全委員会を中心とした、生徒会全体での取り組み
 * ケータイ安全教室(メルカリ・NTTドコモ・au)・・・7月2日・8月30日
 * 薬物乱用防止教室(サポートセンター)・・・7月1日
 * 熱中症対策講座(大塚製薬)・・・5月26日
 * 登校指導・下校指導・・・教師当番による朝の通学路巡回指導、日々の下校指導(教員・PTA・生徒)
 * 安全教育の充実
 ・「防災」「交通安全」「情報モラル」
 ・小中高共同研究の中で
 →安全科(小学校)・総合的な学習の時間(中高)を通して、安心・安全な生活のための知識の習得から判断力や主体的な行動力を備えて判断し発信できる「知」を備えた生徒の育成
 ・系統的な安全教育カリキュラムの作成
 ・総合的な学習の時間、学級活動の時間における安全教育の実施

5. 学校安全週間とりくみ
 * 安全週間立ち会(PTA、教師、生徒会)・・・6月4日～8日
 * 附属小学校「祈りと誓いの集い」への参加・・・6月8日(管理職のみ)
 休休みに献花(生徒)放課後に献花
 (教職員)
 * 学校安全集会(全校朝礼で学校長より講話)・・・6月8日

6. 施設・校舎等の安全整備
 * 教職員によるチェックリスト表に基づいた安全点検(毎月)
 * 生徒会安全委員会による校内安全点検(コーナードの設置)
 * キャンパスクリーン大作戦(死角をなくす為の薬剤等)

7. その他
 * SPS 再々認証式・・・7月20日
 * SPS 認証校としての継続した学校安全の取り組み(ヒヤリハットシステムの導入)
 * 年2回のQUテストによる生徒理解
 * 生徒会によるいじめ防止の取り組み、年2回以上のいじめアンケート(学校生活アンケート)の実施・分析、それを受けた取り組み
 * 安全委員会「生徒」の取り組み(手消消毒の呼びかけ・登校時の通学マナー指導)

SPS 認証校としての継続した学校安全への取り組み(取り組みの発信)
 日本安全教育学会・・・10月17日
 セーフティプロモーションスクール推進員養成セミナー・・・12月24日

新型コロナウイルス感染防止対策
 * 登校時の手洗い消毒(安全委員会(生徒)・安全主任・養護教諭)
 * 昼食時の感染防止指導(担任)

指標 6：学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。

分野	領域	課題への対応と改善
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	○けがの種類と原因をより詳しく分析し、それぞれの原因に対応する防止策を策定する。 ○頭、顔、目のけがの発生数0を目指し、発生原因を分析し予防策を策定し周知を図る。
	安全管理	○コーナガードははがれることもあるので、取付後も点検を継続的に実施する。 ○日常的に身の回りのリスクに気付くことができるようにピクトグラム等で啓発活動を行う。
	安全連携	○振り返り内容等も参考にしながら、発達段階に応じたより効果的、系統的な学習内容の策定を行う。
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火山対策 ・火災予防	安全教育	○様々な状況に対応できる態度・能力を育成できる学習プログラムの開発を行う。
	安全管理	○メール等の通信システムが使用不可になった際の連絡体制の確立を策定し、周知を図る。
	安全連携	○様々な専門的な視点を持った方々からのアドバイスを受け、多様な視点を育成する。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	○生徒の主体性を重視した学習を取り入れ、より実践的な態度・能力を培う学習プログラムの開発を行う。
	安全管理	○PTA 安全委員会と連携を図り、継続的に危険箇所を把握し、重点化した危険箇所へ適切な人員配置を行う。
	安全連携	○池田市と連携を図り、通学路のリスクを軽減する取組を模索する。

1.生活安全

(1)外傷記録を基に分析・改善

日	曜日	学年	性別	性別	傷の理由	場所	状況	原因(ケガ)	経過(ケガ)	発見時刻	発見(体質)	備考	
1	14	水	1年	女	切傷	1h	手-前	特別教室	その他	1時00分	技術	鉄板で足裏に当たって、足中指が切れた。(1時00分 技術)	
1	14	水	1年	女	切傷	1h	手-前	特別教室	その他	1時00分	技術	足指の間に付けた指が切れた。トンボで膝を。(1時00分 技術)	
1	20	月	1年	男	切傷	2h	手-前	特別教室	その他	2時00分	技術	鉄板の間に、本人が指を挟んだ。痛は小さく、深い。(2時00分 技術)	
1	15	水	1年	男	擦傷	17g	足	運動場	転倒	1時00分	体育	体育終了後、転倒し、膝を擦り付いた。(1時00分 体育)	
1	15	水	1年	男	擦傷	17g	足	運動場	転倒	1時00分	体育	新体操のクラブで転倒し、足が擦り付いた。(1時00分 体育)	
1	13	金	2年	女	打撲	3h	手-前	体育館	当た	冷やす	3時00分	体育	30分間の体育で、いつもの間にか本人指を突き刺していた。小指の2本目も同じように骨折している。腫脹あり、冷感あり。(3時00分 体育)
1	7	火	2年	女	擦傷	17g	足	運動場	転倒	冷やす	その他	家の前で転倒し、足が擦り付いた。(冷やす)	
1	15	水	2年	女	打撲	クラブ活動中	背中	運動場	経過観察	その他			2~3日前から、背骨のすぐ下が高い。走っていると痛みがある。圧痛なし、可動域制限なし。様子を見ながら、経過観察するように指示。(経過 様子)
1	23	水	2年	女	打撲	2h	手-前	その他	冷やす	その他			女子の足の付け根が擦れて痛む。圧痛あり、手のひらをさする。激痛不訴。膝立ちから起きられない。直ちに受診。(経過)
1	20	月	3年	女	切傷	6h	手-前	特別教室	当た	冷やす	技術		鉄板で足の指を刺したまま、タイホをさせようとして足中指を刺した。(1時00分 技術)
1	23	水	3年	女	打撲	2h	手-前	特別教室	刺さる	冷やす	技術		体育終了後、刺さるまま。タイホをさせようとして足中指を刺した。(1時00分 技術)
1	21	火	3年	男	打撲	6h	足	体育館	その他	湿布	2時00分	体育	体育で大股をやった。その後3時間目に左足の甲が痛くなった。(2時00分 体育)
1	20	月	3年	女	打撲	6h	足	体育館	刺さる	冷やす	4時00分	体育	左足の足の裏が刺さる。体育でやっていたに付いた。(4時00分 体育)
1	8	木	3年	女	打撲	6h	足	体育館	刺さる	冷やす	その他		足の裏に刺さる。体育でやっていたに付いた。(1時00分 体育)
1	21	火	3年	女	打撲	6h	足	体育館	刺さる	冷やす	その他		足の裏に刺さる。体育でやっていたに付いた。(1時00分 体育)
1	17	土	3年	女	打撲	6h	足	体育館	刺さる	冷やす	その他		足の裏に刺さる。体育でやっていたに付いた。(1時00分 体育)
1	21	火	3年	女	打撲	6h	足	体育館	刺さる	冷やす	その他		足の裏に刺さる。体育でやっていたに付いた。(1時00分 体育)
1	8	木	3年	男	打撲	2h	足	運動場	転倒	冷やす	2時00分	技術	鉄板の間にコギリで足の中指を切りました。(2時00分 技術)
1	9	木	3年	男	打撲	2h	足	運動場	転倒	冷やす	2時00分	技術	鉄板の間に本人が足指を切りました。(2時00分 技術)
1	20	月	1年	男	打撲	2h	足	運動場	転倒	冷やす	2時00分	技術	鉄板の間に本人が足指を切りました。(2時00分 技術)
1	21	火	1年	男	打撲	3h	足	運動場	転倒	冷やす	3時00分	技術	鉄板の間に本人が足指を切りました。(3時00分 技術)
1	21	火	1年	男	打撲	3h	足	運動場	転倒	冷やす	3時00分	技術	鉄板の間に本人が足指を切りました。(3時00分 技術)
1	10	金	1年	男	打撲	6h	手-前	運動場	当た	湿布	5時00分	体育	鉄板の間に本人が足指を切りました。(5時00分 体育)
1	10	金	1年	男	打撲	11h	手-前	運動場	当た	湿布	1時00分	体育	鉄板の間に本人が足指を切りました。(1時00分 体育)
1	14	火	1年	男	打撲	6h	手-前	運動場	転倒	冷やす	6時00分	技術	数字準備室の階段で、落ちて滑った。鉄板、左前腕、右手中指の関節を打撲。運動制限なし。(14時)
1	13	水	1年	男	打撲	6h	手-前	運動場	転倒	冷やす	6時00分	技術	鉄板の間に本人が足指を切りました。(6時00分 技術)
1	17	土	1年	男	打撲	11h	手-前	運動場	転倒	冷やす	11時00分	技術	下足履きで、友人が転倒し、腕が落ちて、左足首に当たった。(11時00分)
1	24	金	1年	男	打撲	6h	手-前	運動場	転倒	冷やす	6時00分	技術	鉄板で走って下駄していた。後方の友人が転倒し、膝を打ち、本人も転倒。左の足を地面に打ち付け、擦傷と腫脹が見られた。赤いテープを貼って終了。(6時00分)
1	24	金	1年	男	打撲	2h	手-前	運動場	転倒	冷やす	2時00分	技術	鉄板の間に本人が足指を切りました。(2時00分 技術)
1	20	月	2年	男	打撲	6h	手-前	運動場	転倒	冷やす	6時00分	技術	新体操のクラブで転倒し、足が擦り付いた。爪切りで切った。絆創膏で保護した。(6時00分)
1	7	火	2年	女	打撲	HR	足	運動場	転倒	冷やす	HR		クラブの間に本人が足指を切りました。(HR)
1	6	月	2年	女	打撲	HR	足	運動場	転倒	冷やす	HR		鉄板の間に本人が足指を切りました。(HR)
1	21	火	2年	男	打撲	クラブ活動中	手-前	運動場	転倒	冷やす	クラブ		練習中転倒し、左手の指を切った。鉄板、左前腕を打撲した。圧痛あり、腫脹なし、可動域制限なし。(部活 サッカー)
1	24	金	2年	男	打撲	11h	手-前	運動場	転倒	冷やす	クラブ		練習で足指を切った。足の指を切った。(11時)
1	24	金	2年	男	打撲	11h	手-前	運動場	転倒	冷やす	クラブ		練習で足指を切った。足の指を切った。(11時)
2	10	木	1年	男	打撲	2h	手-前	特別教室	当た	冷やす	2時00分	技術	鉄板の間に本人が足指を切りました。(2時00分 技術)
2	12	水	1年	男	打撲	11h	手-前	特別教室	当た	冷やす	11時00分	技術	鉄板の間に本人が足指を切りました。(11時00分 技術)
2	17	土	1年	女	打撲	クラブ活動中	手-前	運動場	転倒	冷やす	クラブ		鉄板の間に本人が足指を切りました。(クラブ活動)
2	25	火	1年	男	打撲	クラブ活動中	手-前	運動場	転倒	冷やす	クラブ		鉄板の間に本人が足指を切りました。(クラブ活動)
2	21	金	1年	女	打撲	クラブ活動中	手-前	運動場	転倒	冷やす	クラブ		鉄板の間に本人が足指を切りました。(クラブ活動)

(2)ヒヤリハット・システムのデータの活用

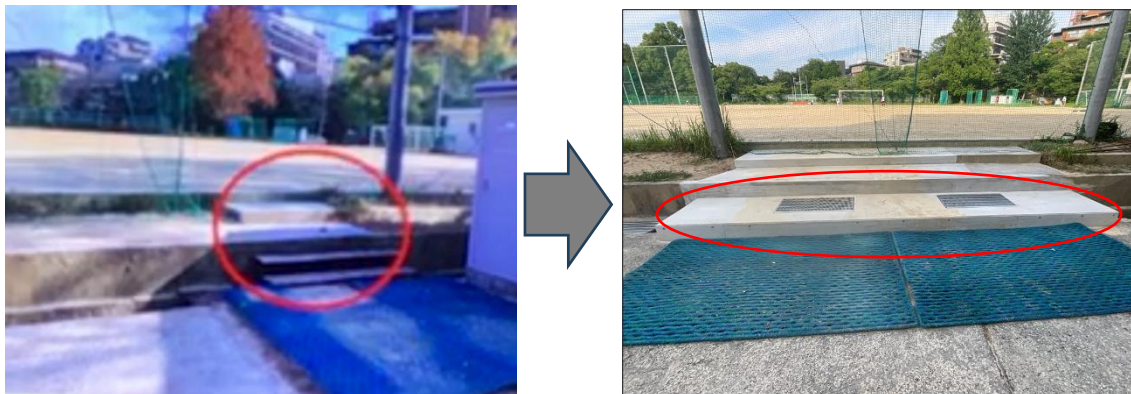
ヒヤリハット集計データ (4月~10月) .XLSX ☆ 〇 〇

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール ヘルプ 最終編集: 数秒前

	A	B	C	D	E	F
1	学年	時間帯	教科	理由	設備の改善	行動の改善
2	1年生	清掃時間	なし	物が倒れてきた	向こう側に倒して置かなければ	用具入れを勢よく開けてしま
3	1年生	昼休み	なし	物が倒れてきた	毛虫が木の上にたくさんいた	木の下に行った
4	3年生	清掃時間	なし	物が倒れてきた	子がちゃんと上がってなくて	ちゃんと気をつける
5	1年生	1-2時間目の休み時間	なし	飛来・落下物	須から周りをよく見て行動する	周りをよく見る
6	1年生	清掃時間	なし	飛来・落下物		
7	1年生	清掃時間	なし	飛来・落下物		
8	1年生	放課後、下校中	なし	飛来・落下物	ネットのいちが危なかった	ぶつからないように気をつけ
9	1年生	1-2時間目の休み時間	数学(代数)	飛来・落下物		ネットには基本触らない
10	1年生	昼休み	保健体育	飛来・落下物		
11	2年生	放課後、部活動中(体育系)	なし	飛来・落下物	ではないが、他の部活の人に隣	他人に貸さない
12	3年生	昼休み	なし	飛来・落下物	もっと柔らかいボールを使う	他の人と離れてバレーボール
13	3年生	昼休み	なし	飛来・落下物	グラウンドの柵を高くする	カーボールが飛んできたら避
14	3年生	昼休み	なし	飛来・落下物	グラウンドの柵を大きくする	飛んできたボールを避ける
15	1年生	1-2時間目の休み時間	なし	転落	普通にコケました。	足元気をつける。
16	1年生	昼休み	なし	転落	止めのようなのがあったら、	考え事をしながら歩かない。
17	1年生	昼休み	なし	転落	として落ちたので、道に何もお	
18	2年生	3-4時間目の休み時間	なし	転落	なし	足元に気をつけて歩く
19	2年生	5-6時間目の休み時間	なし	転落		
20	2年生	清掃時間	なし	転落	なし	手が滑った
21	2年生	昼休み	なし	転落	なし	慌てず行動する
22	2年生	昼休み	なし	転落	段差の高さを改善する	足元を見る
23	2年生	昼休み	なし	転落		
24	2年生	昼休み	なし	転落	(落ちそうになった)	気を抜かない
25	2年生	登校中	なし	転落		しっかりと下を見る
26	2年生	放課後、部活動中(文化系)	なし	転落		他の人の足に近づきすぎない。
27	2年生	1時間目	保健体育	転落	滑したマットがもっとあったら、	自分に合ったことをする
28	2年生	1時間目	保健体育	転落	壁があったら落ちなかった	常に周りを見て行動する
29	2年生	1時間目	保健体育	転落	コーンがなければ落ちなかった	足元をよく見る
30	2年生	2時間目	保健体育	転落	色が塗ってあったら気付けた	丁寧に跳び箱を跳ぶ
31	2年生	2時間目	保健体育	転落		
32	2年生	3時間目	保健体育	転落	ないとこの境目がはっきりわ	足元をよく見る
33	3年生	5時間目	なし	転落	網戸を取り換える	
34	3年生	昼休み	なし	転落		

+ ≡ 集計データ 学年別 時間帯別 教科別 理由別 設備の改善 行動の改善

※ヒヤリハット・システムのデータからの施設改善



2. 災害安全

(1) 各種訓練の振り返り

月	日	時間	種類	対象	反省
5	20	13:10- 13:35	地震	生徒 教職員	訓練の際の放送の把握が生徒の中で十分できておらず、行動に遅れが生じた。 昼休みの流れの中で訓練が始まったので生徒の中で緊張感が足りない訓練となった。
5	23	16:30- 17:15	水泳事故	教職員	職員室とプールとの情報共有がうまくできなかった。 空き時間の教員の活用が不十分であった。 プールへの応援要員の派遣が不十分であった。
7	9	13:30- 15:10	不審者	教職員	内側から施錠するための鍵が壊れているクラスや非常扉が開きにくいなどの設備面での不具合が明らかになった。情報伝達法について、以前から不審者の1Fへの進入時に、2Fでは様子がわからないという意見が出ていたが、今回の訓練では解決することができなかった。
9	2	13:15-13:35	火災	生徒 教職員	放送後、火災現場の特定をまたず、避難を開始したクラスがあったので、指示に対して十分留意するように周知しなければならない。 通報訓練の際、燃えているものが設定されておらず、今後はそこまでの設定を考慮したい。
11	30	19:15- 10:35	地震	生徒 教職員	体の大きな3年生は理科室の机の下に体が入らず、ファーストインパクト時の対応について普段から生徒に検討させておく必要性を感じた。
12	5	11:00- 11:20	不審者	生徒 教職員	具体的な状況を作り出しての訓練ではなかったので、今後より通常の学校生活内での訓練が行えるようにしたい。避難後の点呼時に、ケガの有無や状況などについての報告が不十分であったので、改善していきたい。

12	4	13:30- 15:00	不審者	教職員	訓練当日は出張等で職員の人員が少なく、対応が苦しい状況であった。特に、通常授業を行っている状況での訓練で、空き時間の教師(安全確保班)の人数が少なく、不審者の追跡が事実上一人となってしまった状況であり、職員の安全が脅かされた事態となっていた。
----	---	-----------------	-----	-----	---

3. 実践課題の明確化と年間計画の改善

- ・ **訓練の内容の見直し**
 - 訓練のシチュエーションの変更（休み時間の発生、教員数が少ない、出火場所による避難経路の変更）
 - 訓練時に生徒に怪我人役をさせて、担架の使用
- ・ **中高合同避難訓練の開催**
- ・ **新着任教員対象の事前訓練**
- ・ **提案者の分担（持続できる組織的な取り組み）**
- ・ **訓練後の振り返りアンケートの充実**
- ・ **訓練映像の記録、編集**
- ・ **学校安全の手引きの見直し（コロナ対応等）**
- ・ **トランシーバーの交換**
- ・ **ヒヤリハットシステムの授業での導入**
- ・ **備品の点検、整理、購入**

※ 安全委員会が主催。今年度の実施予定日（※は未定です）

安全委員会 三好・轟田・吉田・大野・西田・永井

1) 基本方針訓練

- 安全方針の作成 (4月) (三好)
- 学校安全の手引き (4月) (三好)
- 学校安全計画の作成 (4月) (三好)
- 学校保護計画の作成 (4月) (吉田)

2) 資料・授業関係

- 安全方針の作成、配布、印刷、占拠（※）、火元責任者シミュレーション (4月) (西田)
- 職員用点検表作成、シミュレーション実施、職員緊急連絡カード (4月～) (三好)
- 靴箱、ロッカー配付、職員用点検シミュレーション (4月～) (三好)
- 配布用パンフレット、教室用備品の整理 (4月～) (三好)
- 緊急時下校グループの作成 (4月) (永井)
- 緊急時手配りグループの作成 (4月) (吉田)
- 職員用シミュレーション (4月) (三好)

3) 訓練関係

生徒・教職員

- 不審者対応訓練 (4月12日) (三好)
- 地震対応訓練 (4月17日) (轟田)
- 大規模火災訓練 (4月22日) (永井)
- 海中対応訓練 (4月28日) (中野)
- 避難用点検表 (4月) (轟田)
- 1年 4校区東学生命線訓練
- 2年 4校区東学生命線訓練
- 3年 (西田) 4校区東学生命線訓練

4) 研修・発信関係

- 標準安全教室 (3年) (4月11日) 3年 10月8日・10日
- 1年 (轟田) 4校区東 (4月11日)
- 2年 (三好) 4校区東 (4月11日)
- 3年 (西田) 4校区東 (4月11日)

5) その他

- 緊急救命講習 (7月14日・15日・16日) (個人研修) (轟田)
- 緊急救命講習 (11月1日) (個人研修) (西田)

E: 教職員

- メンタル研修 (4月4日) (三好)
- 防災講習 (4月3日) (三好)
- プール事故対応訓練 (5月26日) (轟田)
- 緊急救命講習 (教員) (5月26日) (西田)
- 防災訓練、さすまた講習 (8月23日) (大野)
- 安全週間期間 (登下校指導について) (6月3日～8日) (三好)

保護者

- 緊急救命講習 (保護者) (10月) (三好・吉田)

F: 会議・報告関係

- 各訓練前後に大学に報告 (4月・8月・12月) (三好)
- 取り組み報告、校内: 7月・12月・3月 (三好)
- 安全会議 (別開学校園) 6月・10月・1月 (三好)
- 年度末安全会議 (池田地区+地域) (三好)
- 学校安全の日に会議 (池田地区) 6月 (三好)
- 受験時に警察や電車、タクシー会社に連絡 (1月入試1週間前) (吉田)

G: 研修・発信関係

- SP5セミナー12月末 (三好)
- 豊能地区行政研修8月初旬 (三好)
- 後尾川市行政研修: 10月、10年経験者研修終了者のみ (三好)
- 実習生講話 9月・10月 (三好)
- IPでの発信 (安全教育): 三好

回数	実施日	実施内容	実施者の仕事 () 出席者
0			職員用点検表 (4月1日) (三好) シミュレーション (4月1日) (三好) 靴箱配付 (4月1日) (三好) 配布用パンフレット (4月1日) (三好) 教室用点検表の作成 (4月1日) (三好) 火元責任者シミュレーション (4月4日) (西田) 下校グループの作成 (4月11日) (永井)
1	4月4日 (轟田)	安全方針: 三好 学校安全の手引き: 三好 不審者対応訓練: 三好	学校安全計画の作成 (4月中旬) (吉田) 安全点検表の作成・配布 (4月1日) (西田) 火元責任者シミュレーション (4月4日) (西田) 下校グループの作成 (4月11日) (永井)
2	5月2日 (轟田)	海中対応訓練: 三好 重傷応急処置: 三好 スママ研修安全教室: 三好 プール事故対応訓練: 轟田 緊急救命講習 (教員): 西田 学校安全週間: 三好	安全点検表の配布 (5月9日) (西田)
3	6月7日 (轟田)	緊急救命講習 (生徒): 轟田 防災訓練、さすまた講習: 大野 地震対応訓練: 轟田	安全点検表の配布 (6月7日) (7月18日) (西田)
4	9月4日 (轟田)	緊急救命講習 (保護者): 三好	安全点検表の配布 (9月27日) (西田)
5	10月11日 (轟田)	大規模火災訓練: 永井 緊急救命講習 (生徒): 吉田	安全点検表の配布 (10月18日) (西田)
6	11月16日 (轟田)		安全点検表の配布 (11月17日) (西田)
7	12月13日 (轟田)		安全点検表の配布 (12月20日) (1月17日) (西田)
8	2月3日 (轟田)	幹部会議資料: 三好	安全点検表の配布 (2月16日) (3月16日) (西田)

指標 7：学校安全推進に関わる活動の成果が、当該の学校関係者や地域関係者に広報・共有されるとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の発信・共有と新たな情報の収集が継続的に実践されている。

分野	領域	成果の共有と協働
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	○職員会議での報告 ○生徒会自治委員会での協議 ○保健だよりによる啓発 ○保健室前掛けホワイトボードへの掲示 ○学校安全委員会への報告
	安全管理	○学校保健・安全委員会での協議 ○生徒会だよりによる啓発 ○学校評価における報告 ○学校安全委員会への報告
	安全連携	○学校安全委員会への報告 ○学校視察の受入
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火山対策 ・火災予防	安全教育	○学校保健安全委員会での協議 ○生徒集会による啓発 ○学校安全委員会への報告
	安全管理	○学校保健・安全委員会での協議 ○学校評価における報告 ○学校安全委員会への報告
	安全連携	○学校安全委員会への報告 ○学校視察の受入
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	○学校保健・安全委員会での協議 ○学校安全委員会への報告
	安全管理	○学校保健安全委員会での協議 ○PTA 安全委員会での協議 ○学校安全管理委員会への報告
	安全連携	○PTA 安全委員会での協議 ○学校安全管理委員会への報告 ○学校視察の受入

- H24. 4. 14 第 2 回アジア・太平洋学校安全推進フォーラムに参加
日本 International Safe School 認証センター記念祝賀会に参加
- H24. 7. 30~31 学校安全主任講習会に参加
- H24. 11. 4 I S S 推進員養成セミナーに参加
- H24. 11. 17 熊本大学附属中学校から学校安全視察受入
- H24. 11. 29 International Safe School 認証取得を目指す意思を正式の表明
- H24. 12. 12~15 台湾嘉義市 International Safe School の取組視察
- H25. 3. 2 アジア・太平洋学校安全推進フォーラムで生徒が取組発表
- H25. 3. 4~5 大阪教育大学附属池田小学校 ISS 再認証実地審査, 認証式典に参加
- H25. 7. 1 タイ王国教育省から学校安全視察受入
- H25. 11. 29 東京学芸大学附属小金井中学校から学校安全視察受入
- H25. 12. 25~28 台湾台北市 International Safe School の取組視察
- H26. 1. 25 I S S 推進員養成セミナーで取組発表
- H26. 2. 27 愛知県西尾市立西尾中学校から学校安全視察受入
- H26. 3. 7 学校危機メンタルサポートセンターフォーラムに参加
- H26. 3. 8 臨時 I S S 推進員養成セミナーに参加
- H26. 3. 24 e 安全学習研修会に参加
- H26. 5. 12~15 第 7 回アジア地域セーフコミュニティ国際会議で取組発表(韓国 釜山)
- H26. 7. 30~31 学校安全主任講習会に参加
- H26. 10. 9 International Safe School 認証実地審査
- H26. 10. 10 International Safe School 認証取得(国内中学校では初)
- H27. 3. 6 アジア・太平洋学校安全推進フォーラムで学校安全の取組発表
Safety Promotion School 認証
- H27. 3. 14 学校安全主任講習会に参加
- H27. 5. 14 韓国教育大学院から 31 名が本校の学校安全視察
- H27. 11. 20 学校安全コーディネーター研修会で SPS の取り組み発表
- H27. 12. 11 愛知県東浦町より 11 名が本校の学校安全視察
- H27. 12. 12 第 9 回セーフティプロモーション学会にて SPS の取り組み報告
- H28. 8. 29 セーフティプロモーションスクール (SPS) 推進委員養成セミナーで実践
報告
- H28. 11. 17 大阪府寝屋川市中堅教諭等資質向上研修における安全の取り組み講習と安
全学習研究授業発表
- H29. 10. 2 大阪府寝屋川市中堅教諭等資質向上研修における安全の取り組み講習と安
全学習研究授業発表
- H29. 11. 18 本校公開授業研究会における安全学習の研究授業と本校の取り組みについ
ての発表
- H30. 3. 6 Safety Promotion School 再認証
- H30. 11. 20 大阪府寝屋川市中堅教諭等資質向上研修における安全の取り組み講習と安
全学習 研究授業発表
- H30. 11. 23 本校公開授業研究会における安全学習の研究授業と取り組みの実践発表
- H30. 12. 27 学校安全コーディネーター養成研修において取り組みの実践発表
- H31. 3. 1 第 17 回学校危機メンタルサポートセンターフォーラム参加
- R1. 5. 27~29 タイ王国 SPS 推進委員養成セミナーにおいて実践発表
- R1. 6. 28 静岡県小中学校学校安全教育指導者研修会において実践発表
- R1. 7. 30 滋賀県学校安全指導者講習会において実践発表
- R1. 11. 21 大阪府寝屋川市中堅教諭等資質向上研修における安全の取り組み講習と安

- 全学習研究授業発表
- R1. 12. 14 セーフティプロモーションスクール(SPS)推進員養成セミナー実践発表
- R2. 10. 10～11 日本安全教育学会第 21 回静岡大会 一般口演発表
- R2. 12. 28 セーフティプロモーションスクール(SPS)推進員養成セミナー実践発表
- R3. 3. 6 Safety Promotion School 再々認証
- R4. 2. 4 全国学校安全研究大会発表
- R4. 4. 27 高槻市教育委員会から 10 名が学校安全視察
- R4. 11. 22 学校安全学シンポジウム 2022 において実践発表
- R4. 12. 2 学校安全総合支援事業(学校安全に係る専門性向上支援事業) 学校安全実践
力向上セミナーにおいて実践発表
- R4. 12. 9 宮崎市教育委員会から 6 名が学校安全視察
- R5. 3. 3 第 3 回学校安全推進センターフォーラムにおいて学校安全の取組発表
- R5. 9. 21 文部科学省学校安全有識者会議において学校安全に関わる取組のヒアリン
グおよび意見交流
- R5. 11. 24 中国から教育関係者 8 名が学校安全 (ヒヤリハットシステム等) に関する
視察および意見交流
- R5. 12. 26 宮崎県教育委員会・中学校・高等学校から 5 名が学校安全視察
- R5. 12. 25 学校安全コーディネーター研修会で SPS の取組発表
- R6. 2. 7 大阪府教頭研修会において学校安全の取組発表
- R6. 3. 6 Safety Promotion School 4 度目の認証 (予定)

「セーフティープロモーションスクール」の活動マトリックス表

[学校名：大阪教育大学附属池田中学校]

分野	領域	策定 Plan	実践 Do
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭と連携しデータを継続的に蓄積・揭示、分析、予防の策定 ・ヒヤリハットシステム活用した授業 ・AEDを含む救急救命講習の実施 ・様々な状況を想定した不審者対応訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭と連携しデータを継続的に蓄積・揭示、分析、予防の策定 ・ヒヤリハットシステム活用した授業 ・AEDを含む救急救命講習の実施 ・様々な状況を想定した訓練の実施
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員・生徒の月1回の校内安全点検 ・学校安全の手引きの作成 ・メール配信システムの適切な運用 ・S-PDCAサイクルに基づく安全マニュアルの改訂 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員・生徒の月1回の校内安全点検 ・学校安全の手引きの作成 ・メール配信システムの適切な運用 ・S-PDCAサイクルに基づく安全マニュアルの改訂
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全委員会において学校の取組の報告に対する評価・共有 ・普通救命講習実施による教職員・保護者・生徒の救急救命スキルの向上 ・関係諸機関と連携した情報モラル、薬物乱用防止、熱中症予防に関する学習の実施 ・大学教員との連携 ・学会等での発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習実施による教職員・保護者・生徒の救急救命スキルの向上 ・関係諸機関と連携した情報モラル、薬物乱用防止、熱中症予防に関する学習の実施 ・大学教員との連携 ・学会等での発信 ・他校との取り組みの共有
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火山対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な状況を想定した地震・火災対応避難訓練の定期的な実施 ・避難訓練と関連付けた防災学習の実施小学生との合同避難可能な体勢を基にした下校体制の構築等、共助の姿勢の育成 ・災害時に役立つ調理法の安全学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な状況を想定した地震・火災対応避難訓練の定期的な実施 ・避難訓練と関連付けた防災学習の実施小学生との合同避難可能な体勢を基にした下校体制の構築等、共助の姿勢の育成 ・災害時に役立つ調理法の安全学習
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画や防災組織編成に基づく教員の役割分担・任務の遂行 ・防災備蓄倉庫の備品点検および充実 ・災害時における保護者への連絡体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画や防災組織編成に基づく教員の役割分担・任務の遂行 ・防災備蓄倉庫の備品点検および充実 ・災害時における保護者への連絡体制の確立
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全委員会において学校の取組の報告に対する評価・共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全委員会において学校の取組の報告に対する評価・共有
交通安全 ・被害者予防 ・加害者予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行時、自転車での走行時における危険予知能力や危険回避能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全およびマナーに留意を促した交通安全学習の実施 ・生徒手帳を用いた交通安全指導
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の危険箇所を把握するとともに、登校時における危険情報を共有し生徒の安全確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時における危険情報の報告・共有 ・行政と連携した、道路状況の周知
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAや地域の協力を得て登下校の安全を確保し、登下校時のマナーの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の立ち当番による継続した安全見守り活動 ・学校安全委員会における情報の報告と情報共有（警察、消防、見守りパトロール隊、PTA、小中高職員）

評価 Check	改善 Act	共有 Share
<ul style="list-style-type: none"> ・保健室利用の統計処理を行い、内容をグラフ化し、分析 ・安全委員会での振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの種類と原因をより詳しく分析し、それぞれの原因に対応する防止策を策定する。 ・頭、顔、目のけがの発生数0を目指し、発生原因を分析し予防策を策定し周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議での報告 ・生徒会自治委員会での協議 ・保健だよりによる啓発 ・保健室前けがホワイトボードへの掲示 ・学校安全委員会への報告 ・学校視察の受入
<ul style="list-style-type: none"> ・保健室利用の統計データから、外傷内容の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーナガードははがれることもあるので、取付後も点検を継続的に実施する。 ・日常的に身の回りのリスクに気付くことができるようにピクトグラム等で啓発活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健安全委員会での協議 ・生徒会だよりによる啓発 ・学校評価における報告 ・学校安全委員会への報告 ・学校視察の受入
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒へのアンケートや振り返りシートの点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り内容等も参考にしながら、発達段階に応じたより効果的、系統的な学習内容の策定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全委員会への報告 ・学校視察の受入
<ul style="list-style-type: none"> ・訓練時、専門家による講評 ・生徒のワークシートの点検 ・安全委員会での振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な状況に対応できる態度・能力を育成できる学習プログラムの開発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健安全委員会での協議 ・生徒集会による啓発 ・学校安全委員会への報告 ・学校視察の受入
<ul style="list-style-type: none"> ・メール配信結果の分析 ・防災倉庫の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・メール等の通信システムが使用不可になった際の連絡体制の確立を策定し、周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健安全委員会での協議 ・学校評価における報告 ・学校安全委員会への報告 ・学校視察の受入
<ul style="list-style-type: none"> ・訓練時における生徒へのアンケートや振り返りシートの点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な専門的な視点を持った方々からのアドバイスを受け、多様な視点を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全委員会への報告 ・学校視察の受入
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒へのアンケートや振り返りシートの点検 ・安全委員会での振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体性を重視した学習を取り入れ、より実践的な態度・能力を培う学習プログラムの開発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健安全委員会での協議 ・学校安全委員会への報告 ・学校視察の受入
<ul style="list-style-type: none"> ・PTAによる立ち番や教職員の巡視後の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA安全委員会と連携を図り、継続的に危険箇所を把握し、重点化した危険箇所へ適切な人員配置を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健安全委員会での協議 ・PTA安全委員会での協議 ・学校安全管理委員会への報告 ・学校視察の受入
<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全委員会の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・池田市と連携を図り、通学路のリスクを軽減する取組を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA安全委員会での協議 ・学校安全管理委員会への報告 ・学校視察の受入